「これからが本番　アスベスト対策」　　　　　連続シンポジウム　第1回

「公共建築物の吹き付け アスベスト子供達の安全は守られているか？」

日時　　7月19日（月）14時～16時30分
場所　　豊島区勤労福祉会館6階会議室　（地図裏面参照）
主催　　石綿対策全国連　中皮腫・じん肺・アスベストセンター
共催　　2004年世界アスベスト東京会議組織委員会
参加費　無料
連絡先　03（5627）6007　（中皮腫・じん肺・アスベストセンター）

１９８７年の学校アスベストパニック以来「アスベスト問題は過去の事」と感じている人が多いと思います。しかし実態はそうではありません。「文京区の保育園」「練馬区の小中学校」の事例は、公共建築ですらアスベスト問題が終わっていない事を示しました。まさにあなたの身近な公共建築物で、アスベストが残存しているのです。改築と解体工事が増加する、まさにこれからの問題です。基調講演の後、今後のアスベスト対策についてシンポジウムで深めていきたいと思います。

基調講演　「公共建築物と吹き付けアスベストの問題点」

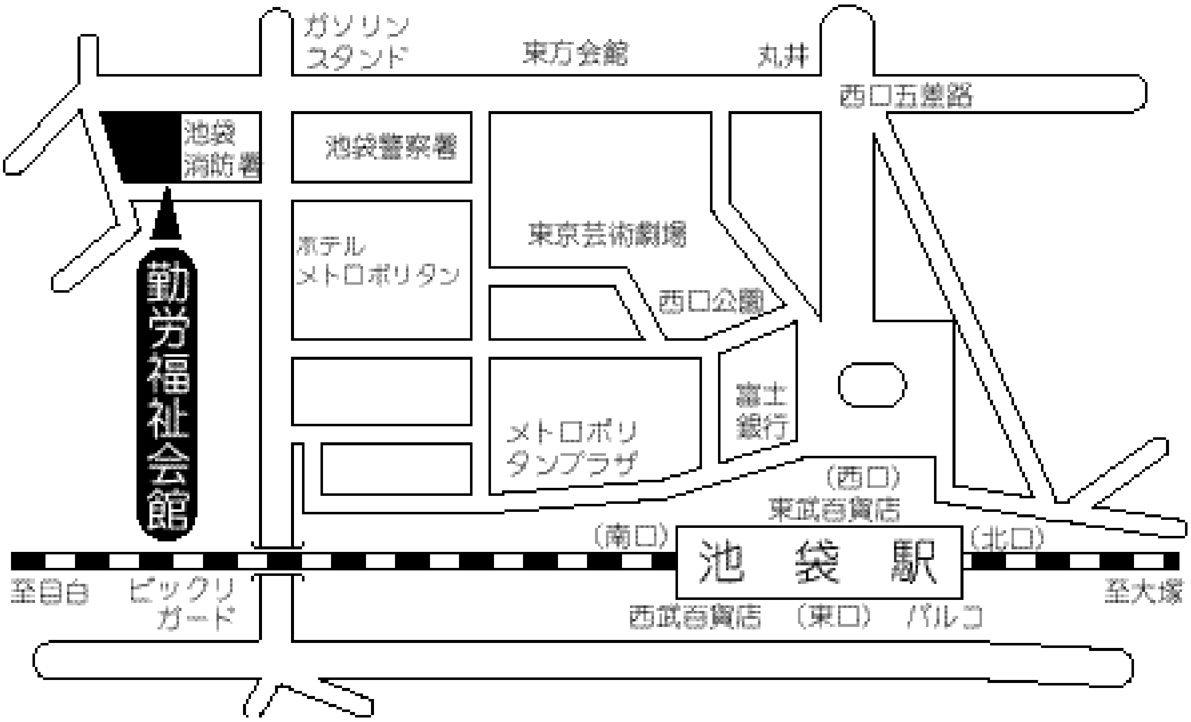
講演者：永倉冬史氏　（中皮腫・じん肺・アスベストセンター事務局長）

シンポジウム　「公共建築物と吹き付けアスベスト」

コーディネーター：名取雄司氏　（中皮腫・じん肺・アスベストセンター代表）

①改築工事での吹き付けアスベスト飛散　―文京区保育園で起きた典型例―
　事件の概要と現在までの経過　　　今井桂子氏　（保護者）
　発症前の損害が認められた意義について　　牛島聡美氏　（弁護士）
②岩綿（ロックウール）吹き付け等のチェックは十分か？　―練馬区の経験―
　　池尻成二氏　（練馬区議会議員）
③神奈川の取り組み　　西田隆重氏　（神奈川労災職業病センター）
④名古屋の取り組み　　繁野芳子氏　（名古屋労災職業病研究会）
⑤東京での最近の動向　　永倉冬史氏

連続シンポジウム　第１回会場案内図　消防署の隣です。



「これからが本番　アスベスト対策」　連続シンポジウムのご案内

第２回「アスベスト含有建材－安全なリフォームを求めて－」

８月９日（月）午後６時３０分－９時　全建総連会館　１階会議室

「危険なのは吹き付けアスベストだけなんでしょう。」もしあなたがこう思っているなら大間違いです。家の屋根や壁、天井とさまざまに使われている多くのアスベスト含有建材が、新築、改築、解体時にアスベスト粉じんを飛散させます。 今後、吹き付けアスベストや含有建材を使った建物の改築、解体工事が急増します。 皆さんの疑問にお答えします。

第３回「地震とアスベスト　阪神淡路大震災から１０年　大震災時の対策は十分か？」

８月２２日（日）午後２時－４時３０分　東京早稲田国際会議場　３階会議室

阪神大震災で多くのビルが倒壊し、十分な対策のないまま吹き付けアスベストが除去されました。
その際のアスベスト吸入で神戸の住民の中皮腫等発生も懸念されます。
東海及び関東での大規模地震が予想される中、地震時のアスベスト飛散防止対策は重要です。
どんな対策が可能なのか？　住民はどう身を守るのか？　みなさんと考えていきたいと思います。

第４回「廃棄物とアスベスト－どこが問題か？－」

９月１８日（土）午後２時－４時　亀戸ひまわり診療所　４階会議室

解体工事現場で発生したアスベスト廃棄物は？
解体工事現場で十分なアスベスト建材の分別が行われなければ、中間処理施設や最終処分場では、アスベスト粉じんが野放しに発生していることも考えられます。
今まで触れられることが少なかった、廃棄物とアスベスト問題に迫ります。